



「Café IMONIKAI」でおしゃべりしましょう！

小雪がちらつくなか、1月26日の『Café IMONIKAI』には、たくさんの方が参加しました。

この日は、facebookで開催を知ったという男性の避難者も、三重県から初めて参加。男性は「避難先では避難の話題をすることは少ないが、ここではマスコミでは報道されないような話が聞けてつながりを感じた」と話します。

参加者はお菓子やジュースなどを持ち寄り、温かな雰囲気の中で、思い思いのお話をしています。

『Café IMONIKAI』は毎月1回開催しています。自己紹介や近況報告など初めての人でも参加しやすい交流の場です。一緒におしゃべりしましょう。

今後の
開催日
と会場

2/21(水) 3/8(木) 4/25(水)
いずれも 10:30 ~ 15:00
大阪市立社会福祉センター内



和やかな雰囲気の避難者交流会「Café IMONIKAI」へどうぞ

※保育が必要な方は2週間前までにご相談ください。

お問合せ：sandori2014@gmail.com

サンドリ【3.11 避難者交流カフェイモニカイ】係

主催：東日本大震災避難者の会 Thanks&Dream
(略称：サンドリ)

協力：大阪市ボランティア・市民活動センター

3/11 ども劇場 ～震災を忘れない～

「ピアノカはスーパーむげんだい！～ピアノカの魔術師ファンタジックコンサート～」



日時：平成30年3月11日(日)

14:00～15:00 (開場 13:30)

会場：大阪市立ども文化センターホール
(大阪市此花区西九条6-1-20 クレオ大阪西内)

出演：ピアノカの魔術師・ミッチュリーほか

■公演紹介■

身近な楽器・ピアノカを超絶技巧で吹きまくる、ピアノカの魔術師・ミッチュリー。ドラムやギター、ピアノも一緒になって、みんなをハッピーな世界にお連れします！身近な楽器で無限大の可能性を体感できるコンサートを、ぜひ、ファミリーでお楽しみください。

ご招待

東日本大震災により避難されている人を対象に、
5組様(1組5人まで)を招待いたします。

次のいずれかの方法でお申込ください。

①往復ハガキ・FAX

記載事項(1)イベント名「3/11 ピアノカはスーパーむげんだい！」(2)必要席数(おとなとこどもの内訳) ※膝上の場合不要(3)代表者の住所・氏名・電話/FAX番号(4)「情報紙 IMONIKAI を見て」 ※往復はがきの郵送料金は124円です。

②インターネット

いちょうネット (<https://www.manabi.city.osaka.lg.jp/>) にアクセス。→「講座・イベント情報」をクリック→キーワードに「ども劇場」と入力 →イベントの情報ページより申込。「受付完了通知」を印刷・持参するか、通知メールの画面をご提示ください。

③ ども文化センター [クレオ大阪西内] 1F 受付で直接申込 (開館時間中受付)

※①～③いずれの場合も「情報紙 IMONIKAI を見て」とご記入ください。先着順に受付「受付完了通知」をお送りします。当日は「受付完了通知」を持参ください。(定員に達し次第締切)

主催 大阪市立ども文化センター

TEL 06-6460-7800 FAX 06-6460-9630

〒554-0012 大阪市此花区西九条6-1-20 クレオ大阪西内

休館日：月曜(祝日時は翌日休) 開館時間 9:00～21:30

ホームページ <http://www.ko-bun.jp>

JR・阪神「西九条」駅より徒歩約5分



方言の交差点

—東北弁と大阪弁が出会う場所—

「凍てる」の方言

季語を取り上げた授業で初めて「イテル」という言葉を知り、「イテツク空」は凍りつくような寒空を表現しているのかと納得しました。

こんな経験をしたのは、私が関東で生まれ育ったからかもしれません。なぜなら、大阪の方言では凍ることを「イテル」と言うからです。季語としてわざわざ学ばなくても、関西で生まれ育っていれば「イテル」を生活の中で耳にしたかもしれません。

でも、「イテル」は共通語の「コオル」と意味が等価ではありません。『日本言語地図』によると、「<手拭いが>凍る」の意味で「イテル」を使う地域は関西に多数ありますが、「<水が>凍る」の意味で使う「イテル」を使う地域は京都と滋賀の一部にしかありません。つまり、「イテル」という方言は「水分を含んだ物質が寒さのために固くなること」を表すようです。

共通語のコオルは「水が氷になること」も「水分を含んだ物質が寒さのために固くなること」も意味します。東北では凍ることは「シミル」と言います。これは平安時代から使われている言葉です。イテツク空の下、日本語の地域差に思いを馳せてみるのも悪くないかもしれません。



追手門学院大学経済学部講師 櫛引祐希子
※方言に関するご質問やご意見がありましたら、こちらまで。 yukushib@otemon.ac.jp



震災復興応援イベント

「3.11 from KANSAI 2018 ～見えにくくなったこと、見えたこと～」



「3.11 from KANSAI 2018」は今年で7回目の開催となります。メイン会場では、震災から時間が経ってわかったこと、みなし仮設や広域避難などで被災者の状況が一般の人から見えにくくなった現状など、「見えにくくなったこと、見えたこと」をテーマに、基調講演とパネルディスカッションを開催します。また、サブ会場では関西に住む避難者の交流会や写真展を行います。

日 時：2018年3月11日(日)
メイン会場 13:30 から、サブ会場 13:00 から
場 所：梅田スカイビル タワーイースト 36F
(メイン会場・スカイルーム1、サブ会場・スカイルーム2)
対 象：3.11、東北へ思いを寄せる人、関西での備えを考えている人など
主 催：3.11 from KANSAI 実行委員会
申 込：ホームページのこくちーずの「お申し込みフォーム」からお申込みください
H P：http://www.311-kansai.com/
問合せ：06-6809-4901 大阪ボランティア協会



今年是被災地支援に関わる当事者によるパネルディスカッションを行います(写真は昨年の様子)

避難者・ご家族向け

訪問カウンセリングのご案内

カウンセラーが訪問いたします。
お気軽にご相談ください。

問合せ・申込

一般社団法人日本産業カウンセラー協会 関西支部

TEL：06-4963-2357

受付：月曜～金曜 午前9時～午後5時

〒541-0053

大阪市中央区本町1丁目4番8号

エスリードビル本町8階



発行

社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会
大阪市ボランティア・市民活動センター
(協力:大阪市各区社会福祉協議会)

〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町 12-10

TEL: 06-6765-4041 / FAX: 06-6765-5618

メール: imonikai@osakacity-vnet.or.jp (担当:小野)

《利用時間》 月・水・金 9:30～20:30

火・木・土 9:30～17:00

(日曜・祝日及び年末年始休館)